

## ・海外感染症流行情報 2022 年 8 月

### ・全世界:新型コロナウイルス流行状況

8 月に入り世界的には新型コロナウイルスの感染者数が減少傾向にあります(WHO Corona virus disease 2022-8-24)。オミクロン株 BA.5 への置き換わりはほとんどの地域で進んでいますが、BA2.75 など新たな派生型の拡大はみられていません。一方、日本では 8 月になっても第 7 波の流行が続いており、WHO の週報では日本の新規感染者数が毎週世界最多になっています。今後、学校が新学期を迎えることなどで、第 7 波の流行はさらに長期化するとみられています(厚労省アドバイザリーボード 22-8-24)。なお、8 月 24 日に日本政府は、海外からの入国者について、ワクチン 3 回接種が証明されれば、新型コロナ検査の陰性証明書を求めない方針を発表しました。この対応は 9 月 7 日から実施されます。

### ・全世界:サル痘の流行状況

サル痘の世界的な流行は 8 月も続いており、8 月 22 日までに 96 か国から 41,666 人の患者が報告されました(WHO 2022 Monkeypox Outbreak 22-8-23)。この 1 か月間の発生数は南北アメリカが 60%、ヨーロッパが 39%を占めており、過去 1 週間の報告数はやや減少傾向にあります。国別では米国(14049)、スペイン(6119)、ブラジル(3450)、ドイツ(3925)が多くなっています。WHO の解析では、患者の大多数は男性間性交渉者(Men who have Sex with Men :MSM)で、現段階でこの範囲を越えて流行は拡大していないとのことです。

### ・アジア:アジア各地で Dengue 熱患者が増加

今年はアジア各地で Dengue 熱患者の増加が報告されています。シンガポールでは 8 月上旬までに昨年の 4 倍近い 2 万 3000 人、フィリピンでも 8 月中旬までに昨年の 2 倍の 10 万人以上の患者、ベトナムのホーチミンでも昨年の 3 倍の 4 万人近い患者が確認されました(Outbreak News Today 22-8-6,14,16.)。スリランカでも今年は 5 万人の Dengue 熱患者が発生しており、このうち 1 万人以上は首都コロンボからです(Outbreak News Today 22-8-21)。コロナの水際対策緩和でアジアに滞在する人も増加傾向にありますが、現地滞在中は蚊に刺されない対策を十分に行ってください。

#### ・アジア:フィリピンでコレラの流行発生

フィリピン中部のビサヤ諸島でコレラの患者が増加しています。7月末までに昨年の2倍となる700人以上の患者が発生しました。患者発生はダバオなどで多い模様です。ビサヤ諸島には日本からの渡航者の多いセブもあり、現地滞在中は飲食物に十分注意するようにしてください。

#### ・ヨーロッパ、北米:英国、米国でのポリオウイルスの検出

英国・ロンドンで今年2月～7月上旬の下水中に、116件のポリオウイルス(ワクチン由来2型)が検出されました。これを受けて英国では9歳までの小児にポリオワクチンの追加接種を推奨しています(ヨーロッパCDC 22-8-12, 16)。一方、米国・ニューヨーク州のRocklandの下水からも、ロンドンと同一のポリオウイルスが検出されました(米国ニューヨーク州保健局 22-8-12)。Rocklandでは今年6月にポリオ患者が1例発生しましたが、さらに多くの感染者が存在する可能性があります。ニューヨーク州では2019年からポリオワクチンの接種率が低下しており、保健当局はワクチン接種を呼び掛けています。現時点で、日本から英国や米国に滞在する場合、ポリオワクチンの追加接種は推奨されていませんが、今後の経過を見ていく必要があります。

#### ・アフリカ:コンゴ民主共和国でエボラ熱の患者発生

コンゴ民主共和国の北東部にあるベニで、エボラ熱の患者が1名発生しました(WHO アフリカ 22-8-20)。患者は46歳女性で7月末に発症し、8月中旬に死亡しました。同地域では2018年～20年に大規模な流行が発生しており、その再燃と見られています。